

きゅうしょくだよい

港区立白金小学校
校長 吉野達雄
栄養教諭 島崎聡子
令和2年1月8日

今年も健康で穏やかなよい一年になりますように

あけましておめでとうございます。いよいよ今年度最後の学期が始まりました。生活リズムを整え、1日1日を元気に過ごしていきましょう。



市場の初競りは1月5日。豊洲市場でも早朝からたくさんの野菜や水産物を前に初競りが行われました。

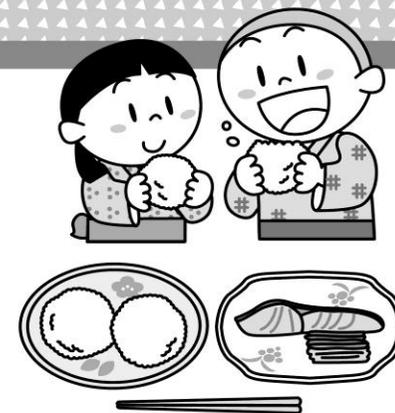
野菜が彩りよく載せられた「宝船」は新春の初荷ならではの風景です。競りにかけられ、お年賀として得意先や店先に飾られます。

新年初の市場は、希望に満ちた活気であふれていました。



276kgの青森県大間の本マグロ

学校給食の歴史と献立の 移り変わり



日本の学校給食の歴史は、明治22(1889)年に山形県のある小学校で、貧しい子供たちへ昼食を無料で提供したのが始まりとされています。その後、各地で給食が実施されるようになりますが、戦争などの影響で中断されてしまいました。そして戦後、支援物資による給食再開を記念して設けられたのが、1月24日~30日の「全国学校給食週間」です。給食がどのような歴史をたどってきたのか、ご家族みなさまの思い出も交えながら話題にいただければと思います。

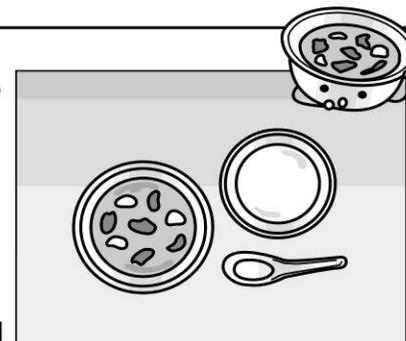
明治22年の給食「おにぎり、塩ザケ、漬物」

昭和22年 ● 給食が再開される (1947年)



昭和21年12月24日、東京都内の小学校でアメリカのLARA(アジア救済公認団体)より給食用物資の贈呈式が行われ、昭和22年1月から全国約300万人の児童に対して、脱脂粉乳や缶詰などを用いた給食が始まりました。

★当時の給食「ミルク、トマトシチュー」

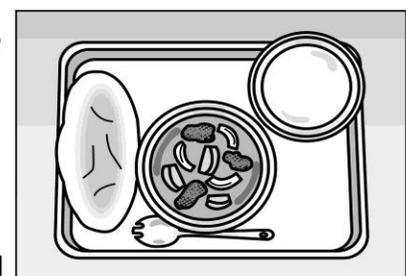


昭和25年 ● パン・ミルク・おかずの (1950年) 「完全給食」に



アメリカから寄贈された小麦粉を使い、パン・ミルク・おかずがそろった給食が実施されるようになりました。

★当時の給食「コッペパン、ミルク、カレーシチュー」

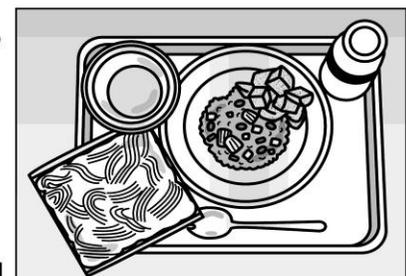


昭和38年 ● ソフトめんが登場、 (1963年) 脱脂粉乳から牛乳へ



ソフトめんが学校給食に採用され、メニューの幅が広がっていきました。また、昭和39~43年にかけて、脱脂粉乳から牛乳へと切り替わりました。

★当時の給食「ソフトめんミートソース、牛乳、フライポテト、桃缶」



昭和51年 ● 米飯給食が正式に始まる (1976年)



パンが中心の給食から、少しずつ米飯給食が増えていきました。当初はご飯を炊くための設備が整わず、月に数回程度の実施でしたが、米飯給食は子供たちに大好評でした。

★当時の給食「カレーライス、牛乳、塩もみ、ゆで卵」

